

一八一五番

児こらが手てを 卷まきむく向山やまに 春はるされば 木この葉はしのぎ  
て 霞かすみたなびく

一八一六番

玉たまかぎる 夕ゆふさり来くれば 獵さつ人ひとの 弓ゆつき月つきが岳たけに  
霞かすみたなびく

一八一七番

今けさ朝あす行ゆきて 明あす日は来こむと 言いひし子こが 朝あさ妻づま山やま  
に 霞かすみたなびく